

檀信徒各位

十夜法要のご案内

聖名 時下晩秋の候、専心聞法の好季節となりました。
政治のあり方も変化の時を迎え、新しい時代になっていきそ
うな感じがする今日この頃です。今年も収穫の時期を終え天地
の恵みを感謝する頃でもあります。下記のように十夜法要を勤
めます。

ご多忙の処とは存じますが、お繰り合わせご参詣下さいます
ようご案内申し上げます。 合 掌

平成 21 年 11 月上浣

無量寺 住職 堤 俊翁 拝

記

※期 日 11 月 23 日 (月) 勤労感謝の日

※時 間 午後 1 時より御 回 向 (普通回向)
午後 2 時よりふじゅもんえこう 諷誦文回向 (特別回向)、法話

※布教師 黒瀬 寛雄 師 (小倉南区全照寺)

※ご回向料

普通回向 1 霊 1,000 円以上

特別回向 1 霊 5,000 円以上 ご注意下さい。

初めてお十夜を迎える霊位、又は特別に志される霊位、
布教師様によるふじゅもんえこう 諷誦文回向です。

お申し込みの方は事前に御連絡をお願いします。

※お供え米、お供え米料 随意ご志納下さい。

毎日の本尊様のお供え、お花代等にさせていただきます。

※郵便振替等で申し込まれる方も位牌型をお送り下さい。

ご存知ですか？

十夜法要

由来・・・時は室町時代、後花園天皇の代に遡ります。伊勢守平貞経の弟貞国は世の無常を感じ、出家しようと京都の真如堂に参籠して三日三晩、念仏行を勤めました。すると夢枕に立った僧から「出家は思い留めよ」とのお告げ。ほどなく、家督相続の命が下って大いに栄えたということで、阿弥陀仏の霊験に驚いた貞国は、続いて七日七晩のお念仏を修し報恩の思いを捧げました。

合わせて十日十夜のお勤め。お十夜の由来です。

無量寿経には・・・「ここにおいて善を修すること、十日十夜すれば、他方諸仏の国土において、善を修すること千歳

するに勝れたり」と説いています。煩惱、誘惑にさいなまれる娑婆にいなから善行を積むのは、それほど難しい、だからこそ尊いということでしょう。

十日十夜の念仏善根をもつて浄土往生を願うのです。

浄土宗の十夜法要の初めは大本山光明寺（鎌倉市）です。

一四九五（明応四）年、観音祐崇上人が後土御門天皇の許しを受けて行われるようになりました。

本来お十夜は、陰暦の十月五日から十日間にわたる念仏会です。この十夜会には、秋の収穫感謝や先祖供養に要素も関わって今に至っています。

釈尊の生涯

師を求めて

求道者となった太子は多くの修行者をたずね、特に名声の高いアララダ・カーラーマと、ウドラカ・ラーマプトラのふたりの師を選ばれた。ふたりの師はともに禅定によって精神統一を行ない、心の安定を得ようとしていた。太子は彼らに教えを乞い、実践をかさね、やがて師たちと同じ境地に達せられた。

しかし、そこに出家のこころざしを満たすことができないうことを知って、師のもとを辞した。

なぜならば、師たちの教えは現実の苦悩の根源を断ち切るものではなく、精神の統一を行っている間は苦しみを忘れて心の平静が保たれているのであるが、その統一を失うともとの不安の状態にかえるからであった。

このことは苦悩を解消するとう目的を達するのでなく、言わばただ苦悩からの逃避を意味するだけであった。

駐車場案内

11月23日 十夜法要の日の駐車場です。お寺の周囲の道路は、すべて駐車禁止です。監視員が頻りに廻ってきますので、ご注意ください。法要当日は南側の参拝者駐車場を利用できます。



観音様建立一万巻写経

無量寺は筑後33カ所 観音霊場の18番札所です。

現在、境内納骨堂に仮安置されている、
本尊聖観音様を山門横にお移します。
皆様の納経料をもって実現したいと思います。

- 1、日 時 毎月第3土曜日但し、8月はお休み
午後3時より勤行とお念仏
(日常勤行式 浄土宗のお勤め)
終了後 写経会
※お勤めだけ、または写経会のみのご参加も
歓迎します。

- 2、場 所 無量寺 2階 本堂にて

- 3、参加費 無 料
写経用紙(和紙)は準備しております。
(実費をお願いします。)
用具は各自お好みのもの
(筆、すずり、墨汁、サインペン等)を
ご持参ください。
筆ペンを20本ほど
準備しております。

納経を希望される方は
納経料 1巻 1,000円を
ご志納下さい。
(納経料は積み立てて、
観音様建立の資金といた
します。)



写 経 室



写真はイメージです

無量寺コンサートのご案内

- 1、期 日 平成21年11月28日(土)
2、時 間 午後4時開演
3、場 所 無量寺 1階講堂にて
4、参加費 無 料

仏教的ターミナル・ケア

看病御用心 良忠上人

現代語訳

敬つて知識、看病人に申し上げます。人間が極楽往生することは、誠に人生において一大事の因縁ごとです。もし知識の慈悲の心による念仏の勧誘がなかったならば、どうしてこの一大事を成し遂げることができませんでしょうか、とてもできはしないでしょう。それ故に病人は、知識に対して仏を拜するのと同じような思いをなし、知識もまた病人に対して慈悲の心をもつて、我が子に接するようにしなさいと言っています。

一、まず道場（病人の寝所）を清潔にととのえ、ご本尊を遷しお迎え申し上げて、そのみ仏のみ手に五色の幡をかけ、それを病人の手で引くことができるように設置しなさい。仏像を安置する高さは、病人が寝ながら十分に仏像を拝み申し上げることができ、くらしいの位置がよいと思われ、ます。仏像と病人との距離は、臨終時に際しては、少しでも近い方がよいと思われ、ます。道場はふだんの居間とは別の場所に設けるのがよいと申しています。もしそうするには、適当な場所がない場合には、仏前に近づけて床を設けてや、すませ。ふだん使用している居間から気分の変わる場所に移すのが適当に思われます。

続く

かぞくておいしい！ かくな流 精進料理



【作り方】

- 1 薄口しょう油、みりん、昆布を一煮立ちさせて昆布出汁を作る。
- 2 (1) の出汁に4分の1に切った長茄子を入れて煮る。
- 3 出汁に薄口しょう油、塩を入れる。この出汁に片栗粉を入れてとろみをつける。
- 4 ゆがいた枝豆をミキサーにかけ枝豆ピューレを作る。
- 5 (4) を(3)に入れて混ぜ合わせ、練り胡麻、砂糖、薄口しょう油、塩を加えて味を整え、枝豆あんかけを作る。
- 6 (2) の長茄子を器に入れ、(5) の枝豆あんかけを上から流す。
- 7 出汁で味付けをした生湯葉を枝豆あんかけの上のにのせ、最後に枝豆を添えて出来上がり。

秋茄子の枝豆あんかけ

浄土宗～かるな～より

<材料>

- 長茄子・・・4本
 枝豆・・・・・・250g
 生湯葉、片栗粉、練り胡麻・・・・・・適量
 砂糖、塩・・・・少々
- <昆布出汁>
- 水・・・・・・180cc
 薄口しょう油・・・144cc
 みりん・・・・・・144cc
 昆布・・・・・・適量